

# *H.I.D Lamp System*

Ver 1.10

汎用HIDキット (リレー付属)

Hi/Low切替タイプ










## 取り扱い説明書

*Light Saver*

## はじめに

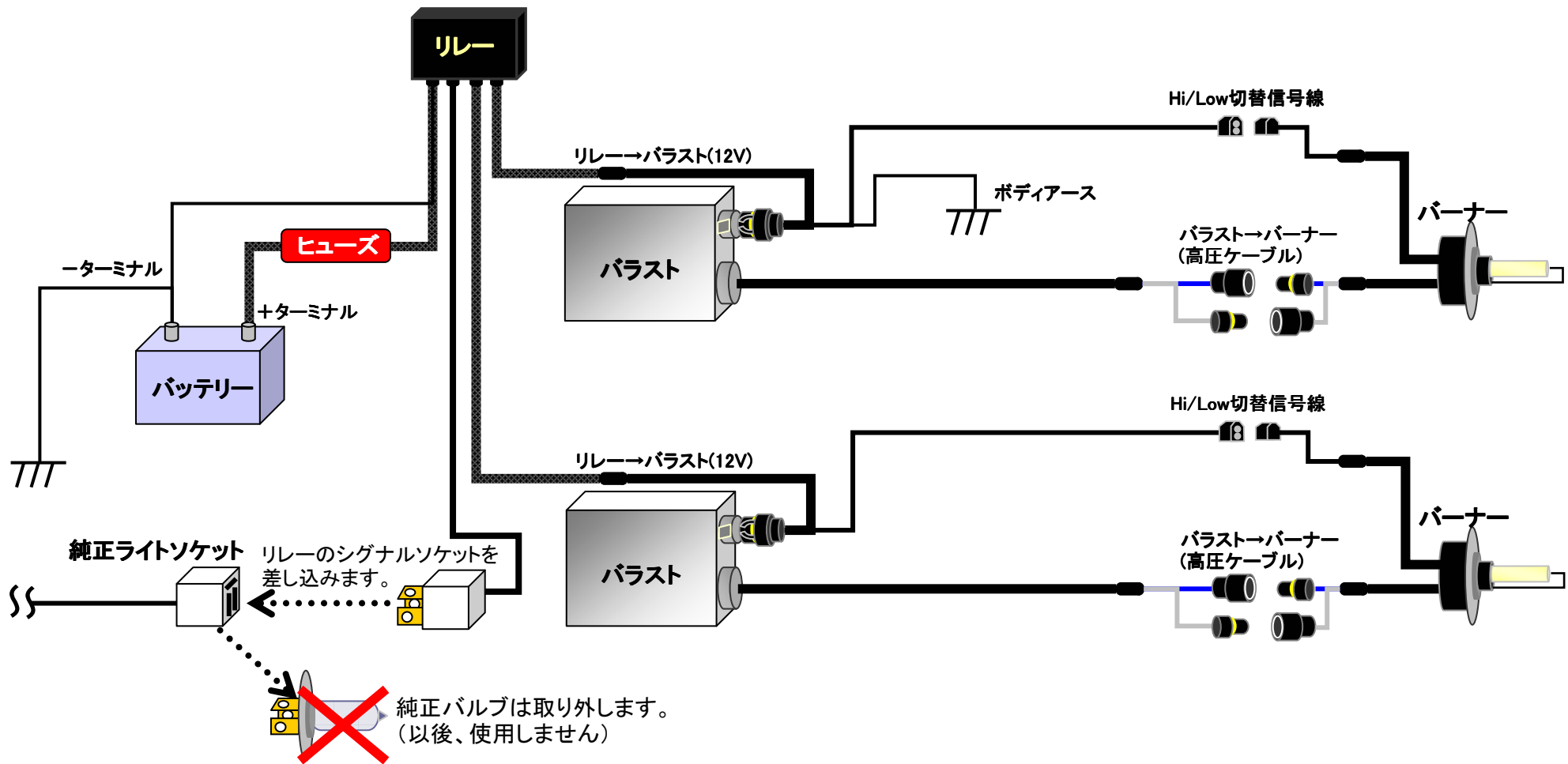
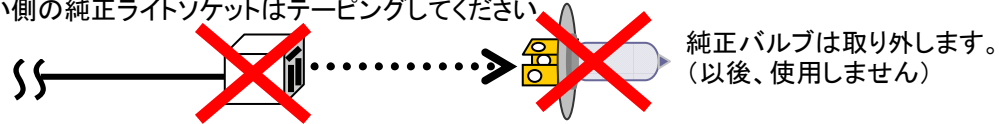
この度は弊社H.I.D LampSystem(以下HIDと表記)をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。  
本製品は高性能デジタルアルミバラスト、Hi/Low切り替え式バーナー、リレーハーネスで構成された汎用HIDキットです。

## 注意事項

-  HIDの取り付けには専門知識が必要です。取り付けは専門店やカーショップ等へのご依頼をお勧めします。
-  取付作業で発生したいかなる人物の怪我、所有物の損失、障害において販売元であるLightSaverは一切責任を負わないものとします。  
**各自の責任において行動してください。**  
なお、保証期間のHID製品の不具合につきましては、修理・交換にて対応いたします。
-  バーナーのガラス管部分には絶対に触れないでください。故障・破損の原因となります。  
※バーナーは高温になります。点灯直後に触れると火傷します。  
また、高温時に水などが付着すると破損する恐れがありますので、取扱には十分気を付けてください。
-  HIDのバーナー／バラストは精密機器です。  
取扱不備や改造による故障・破損については、保証致しかねますのでご了承ください。
-  取り付け前に各機器類(ホーン／ライト／ワイパーオーディオなど)が正常に動作していることを確認してください。  
各機器類の確認後、バッテリーのマイナス端子側を外して、ボディに触れないように固定して作業を行ってください。  
※取り付け作業後も同様にチェックを行ってください。
-  十分にエンジンやラジエターが冷えてから作業を行ってください。
-  出荷梱包時、最新の取扱説明書を添付しておりますが、部品製造元の仕様変更や性能改善等の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。  
また、各部品類は仕様変更により、マニュアルで紹介している画像と部品の形状が異なる場合がございます。
-  当マニュアルで紹介している取付方法は一例です。  
各部品(バラスト)の取付位置や取付方法を遵守する必要はございません。  
実車に合わせて、最適な位置へ各部品の取付を行ってください。  
※各部品は「極端な高温にさらされない」「水がかからない」場所への設置を行ってください。
-  保証期間は1年目まで交換対応、2年目からは修理対応となります。(1年保証品の場合は1年目のみ交換対応となります。)  
保証期間については、キット付属の保証書を参照してください。  
※保証期間を過ぎてからのトラブルに関しては、有料で対応致します。

## [Hi/Low切替機能付きバルブ (H4 Hi/Low切り替え式など)]

純正ライトソケットは、左右のどちらか一方しか使用しません。  
 使用しない側の純正ライトソケットはテーピングしてください



昨今、リレーユニットの取付ミス、およびアース不良によるトラブルが多く報告されております。リレーユニットの取り付けミスや、アース不良はHIDキット装着直後は正常に動作いたしますが、数週間～数ヶ月経過した後、不点灯などの不具合が発生し、全ユニットの交換が必要になる場合もございます。

**H I Dキットを取り付ける際は、下記の注意点を十分に理解した上で作業を実施してください。**

## 1. リレーユニットの取り付けに関する注意点

### リレーユニットの取付位置・取付向きについて

リレーユニットは「水がかかりづらい」「**極端な高温にさらされない**」位置への取り付けを行ってください。

⚠ 水浸しになったリレーユニットの接点が腐食して、動作不良を起こすケースが確認されております。仮に水がかかりやすい場所へ取り付ける場合は、**接点と端子部にコーキング**を行ってください。

リレーユニットが上向き、カブラー／配線が下向きになるように設置してください。

⚠ リレーユニットを下向き、カブラー／配線を上向きに設置すると、リレーユニットの端子部が水分で腐食して動作不良を起こすケースが確認されております。水がかからない場所であっても、昼夜の温度差などで発生した結露が配線を伝ってリレーユニットの端子部に溜まり、端子を腐食させる場合がありますので、必ず**リレーユニットは上向きになるように設置**してください。

エキマニなど、高温になる部品の近くには固定しないでください。

⚠ 熱害によるユニット破損から、H I Dが**点灯しっぱなしになる**ケースが確認されております。設置位置が分からない(決めれない)場合は、純正の電装品(バッテリーやヒューズボックスなど)の近くに設置してください。純正の電装品は熱の影響を受けづらい位置に設置されているため、リレーユニット設置の目安となります。

### 取付ミスによるリレーの腐食と、正しい取付例



前ページの続き

## 2. アースに関する注意点

理想的なアースポイントは、ズバリ**バッテリーの－端子**ですが、リレーの配線の長さや各機器類の位置関係から、すべてのアース線をバッテリーの－端子へ落とすことは極めて困難ですので、下記の優先順位でアースポイントを探して接続を行ってください。

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ①バッテリーの－端子          | 最良   |
| ②追加(強化)アース線のアースポイント | ↑    |
| ③純正アースポイント          | ↓    |
| ④ボディーに直付けされているボルトなど | 望ましい |

### ✂ ボディーアースの施工方法について

#### 👉 ボディーへ直接アースを落とす場合の注意点について

- ⚠ ボディーへ直接アースを落とす場合は、紙やすり等でボディのペイントをしっかりと除去してください。ボディー側にペイントや汚れが残っていた場合、接触不良を引き起こす可能性があります

#### 👉 ボディーアースを行った場合、必ず点灯試験を行って正常にHIDが点灯することを確認してください。

- ⚠ デジタルテスターや、検電テスターで通電を確認できた箇所にアースを落としても、点灯できなかったケースが報告されております。HIDは起動時に大きな電力を必要とするため、アースポイントの抵抗値が高い場合、HIDを起動できずに不点灯となる場合があります。テスターで通電を確認できた箇所へアースを落とした場合であっても、必ず点灯テストを実施して確認を行ってください。

#### 👉 アースポイントの酸化保護を行ってください。

- ⚠ 純正アースポイントや、ボディーへ直接アースを落とした場合は、**アースポイントを塗装する、接点グリスを塗布する**などアースポイントの酸化防止対策を行ってください。特に低年式車の場合、経年劣化による通電性の悪化が著しく、取付直後は正常に動作していても、数週間～数ヶ月で不点灯となった事例が報告されております。**特に接点グリスはアース不良防止に効果的ですので是非、塗布を行ってください。**

以下HIDキット取付に作業に関する説明を記します。

## 取付説明 - 1. リレー接続イメージ

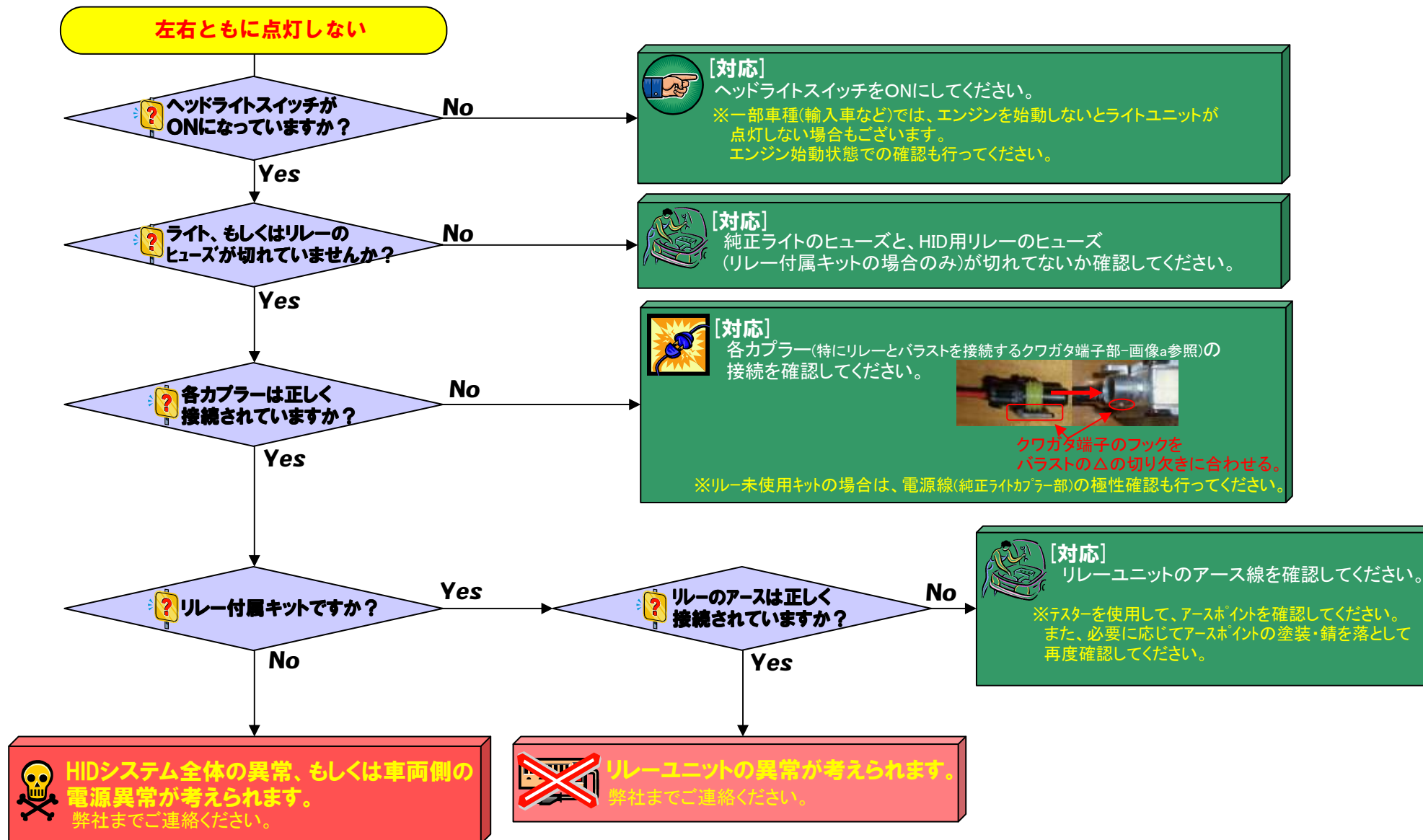
以下にバラスト・バーナー・リレーハーネスの接続イメージを記載します。



次ページへ続く

以下HIDキット取り付け後のトラブルシューティングを記載します。  
正常に動作しない場合は、下記手順にて原因を調査・対応してください。

## トラブルシューティング—1. 左右ともに点灯しない場合



次ページへ続く

前ページの続き

## トラブルシューティング—2. 左右どちらか一方が点灯しない場合

左右どちらか一方が点灯しない

各カプラーは正しく  
接続されていますか？

No



[対応]

各カプラーの接続を確認してください。

Yes

バラスト/バーナーのアースは  
正しく接続されていますか？

No



[対応]

バラスト/バーナーのアース線を確認してください。

Yes

[原因調査]

左右のバラストを交換してください。

左右バラスト交換後、点  
灯状態は変化しましたか？

Yes



バラストの異常が考えられます。

弊社までご連絡ください。

No

[原因調査]

左右のバーナーを交換してください。

左右バーナー交換後、点  
灯状態は変化しましたか？

Yes



バーナーの異常が考えられます。

弊社までご連絡ください。

No

リレー付属キットですか？

Yes



リレーユニットの異常が考えられます。

弊社までご連絡ください。

No



車両側の電源異常が考えられます。

弊社までご連絡ください。

次ページへ続く



前ページの続き

### トラブルシューティング—3. Hi/Lowが切り替わらない場合

左右ともにHi/Lowが切り替わらない

各カプラーは正しく  
接続されていますか？

No



[対応]

各カプラーの接続を確認してください。  
※特にリレーとバーナーを接続しているHi/Low切替信号線の  
カプラーを重点的に確認してください。

Yes



バーナー、もしくはリレーユニットの  
異常が考えられます。  
弊社までご連絡ください。